

令和 7 年度 第 1 回 5 月 1 日（木）学校運営協議会

内容

- 1 学校運営協議会組織と自己紹介
- 2 今年度の学校経営計画
- 3 今年度の学校運営協議会およびコミュニティ・スクールの活動計画

令和 6 年度の実績と今年度の見通し

（1）授業支援

① 豊平塾

9 月 22 日（月）は、学校運営協議会の方々やコミュニティ・スクールの皆さんの力をお借りして、子どもたちが自ら選んだ体験学習に浸る「豊平塾」の日を行う。

- ◇学有林で自然学習 ◇小泉山体験学習 ◇縄文学習（火起こし、土器づくり）
- ◇地域食材調理（寒天、糸萱かぼちゃ、糸瓜） ◇農業体験（花、野菜、いちごなど）
- ◇防災学習（避難所開設や非常食調理） ◇もの作り（竹細工、わら細工）

- ② 読み聞かせボランティア PTA のみなさん（学年学級部が中心になり、声がけ）
おはなしひとつさん
グリーンヒルズ 山岸紀子さん
コミュニティ・スクール 雨宮節二さん

③ クラブ活動の外部講師支援

- ◇将棋・オセロ 功刀 譽（たかし）さん ほか …R7 年度継続
- ◇手芸 岩波舞さん（R6 年度 4 年保護者） …R7 年度継続
- ◇パソコン 市川純章さん（R6 年度 6 年保護者）諏訪東京理科大学教授 …R7 年度継続
- ◇和太鼓 ハケ岳泉龍太鼓保存会さん …R7 年度継続
- ◇縄文体験 守矢昌文さん 尖石縄文考古館 館長 …R7 年度継続
- ◇けん玉クラブ 牛山翔太さん（湖東出身） …R7 年度継続
- ◇ヨガ 久村潤子さん（R6 年度 6 年保護者）⇒新講師 宮坂千絵さん を迎え 継続
- ◆折り紙 溝口悦子さん …R7 年度閉講

- ④ 5 年田んぼ学習支援の方々 小平重一さん・柳平忠治さん・矢崎鐘信さん（しめ飾り）ほか

- ⑤ 畑の耕耘 御作田の田中さん

- ⑥ 姉妹学級交流「焼き芋会」 民生児童委員のみなさん

- ⑦ 地域学習 大根農家、ブロッコリー農家、いちご農家のみなさん

- ⑧ 家庭科ミシン学習、国語書写学習などの支援

- ⑨ 音楽部 金管楽器指導 ～ 現在諏訪響の藤田先生を外部講師として活動

普段の練習にボランティアで参加できる方がいるとありがたい。

朝 7：40～8：10 金管楽器の基礎指導・パート練習の補助、音楽部合唱の伴奏等

（2）環境整備

- ① 校庭整備として、秋の PTA 環境整備作業とタイアップして「草取り大作戦」を開催
- ② 学校樹木相談役、久保田好正さんからしらかばの苗木を 5 本いただき、校地内に植樹
- ③ オオムラサキ飼育 守矢新一さん 他小泉山創造委員会のみなさん

3 年児童中心に、飼育、観察、放蝶を行い、「小泉山体験の森」の活動にもできるだけ参加。

(3) 安心安全

- ① 登下校見守り隊の皆さん 「ふらっと 見守りたい」
登下校時の児童の様子・地域で遊ぶ様子などを見守っていただく。
- ② 防災訓練
特別養護老人ホームから豊平コミュニティまで車いす「ジンリキー」での避難補助
- ③ あいさつ運動

(4) 家庭教育支援

- ① 家庭教育学級の実施 PTA 教養部と協力。

(5) 広報

- ① 学校だより「Let's Try!」や豊平小ホームページで学校での様子を地域の方に発信。
- ② ボランティアの依頼などをポスターや地区回覧などを使って呼びかける。



委員名簿

氏 名	
やなぎだいら 柳 平	ちよかす 千代一
きたざわ 北澤	まさひで 政英
きかわ 木川	りょういち 亮一
もりや 守矢	しんいち 新一
やなぎだいら 柳 平	ちゅうじ 忠治
もろすみ 両角	かすお 一夫
うしあま 牛尼	たかし 隆志
おび 小尾	さだよし 定良
みやさか 宮坂	ひとし 均
よしかわ 吉川	こう 豪

☆1について ご質問、ご意見をいただいたこと

○協議会のメンバーに女性の方を入れたい。女性目線での意見も取り入れていけるとよい。

☆2・3について ご質問、ご意見をいただいたこと

○9月6日(土)のPTA 作業では、今年度も草取り大作戦をして、その後でカレーの炊き出しを計画していく。

○「豊平というとシラカバ」はよいと思う。折れやすい樹木なので、通路を外して植えるのがよい。

○学校外での学びは大切だが、小泉山の体験学習が始まった当時の熱い思いを引き継いでいくことに難しさを感じている。オオムラサキの飼育についても、なかなかうまくいかない。熱い思いをもった人たちが始めた活動が、高齢化もあって、始めた人が辞めてしまった。先行きに難しさがある。今までは大人が呼びかけてやっていくことが多かったが、子どもたちに発案してもらおうということで動き始めている。熱い思いの方々が進んでいくので、維持の難しさを感じている。

○玉川小では、「小泉山をなんとかしていく」という考えをもっている。豊平小も一緒になってやっていくといいと思う。

○小泉山の活動はとてもよいが、学校から少し遠いことに難しさを感じる。

○草取り大作戦で草刈り鎌の使い方を子どもたちに伝授したらどうだろうか。体験の場にしていくとよいのではないか。地域の人たちに子どもを知ってもらおう。「地域の学校だから、みんなでやろう。」マラソン大会や運動会を地域の人も入って行う昔のような活動が可能ならば、できたらいいと思う。

○「自然を相手に」は、豊平らしさはある。しかし、ICT など個人の体験したことを共有できるような両面性を活かした、豊平ならではのことを作っていけばよいのではないか。

○過去は、運動会に地域の人が入って一緒にやっていた。町民運動会のような地域の人と一緒にやれる行事になればよい。PTA と来賓で大玉送りをしたこともある。綱引きもやった。地域の方がかわってやれるような行事があればよい。10月の学有林遠足は、昔は地域の人と一緒に歩いて、目的地で火を焚いて豚汁を作ったことがある。そんな企画もあれば楽しめる。遊びながら、お昼を食べるのはどうか。今年の運動会を見て、またアイデアを出していきたい。

校長) 9月22日(月)の「豊平塾」については、この日がどうかと考えている。学校全体で、自分のやりたいことを選んで活動したいと思っているが、低学年の児童が、自分でやりたいことを選べるか、心配もある。

○先生方のやる気がポイント。働き方改革もあるだろうけれど、先生たちは豊平塾についてどう考えているのか。

校長) 乗り気の先生が多いと感じている。子どもたちと一緒に活動する事は意欲的な先生が多い。

○先生たちも「やってよかった」というやりがいがあればよい。先生たちは何をやりたいのか、どんな講座を開いてみたいかを聞いてみたい。やってみようよというスタンスが大事。

校長) 先生方が楽しんで、はしゃいでやってほしいと思う。

○若い世代が、なかなか学校行事に参加しないと言われている。子どもと一緒にできる行事にするとよいのではないか。

○公民館に子どもが遊べるようなものがあればよいのではないか。例えば、人生ゲームや卓球など。

○新しい家を建て豊平に移り住んだ方が多い。その中で竹細工を6年間やってきているが、もと

もと豊平に住んでいる子も新しい子もどちらも夢中になって取り組む。子どもたちが初めて体験する喜び。完成した後の喜び。作る過程が貴重な体験となっている。

○きっかけがあればやる。諏訪インターチェンジでバザーをやったこともある。そういうことには、生き生きと取り組める。

○保護者の意識はどうだろうか。

○ PTA 活動に参加しないという人もいる。「行事に参加しない」というご家庭が多いか？

○仕事が忙しいという理由で行事に参加しない家庭が増えている。仕事に比重がかかって、参加したくしたくても、できないというイメージがある。

OPTA とは、保護者と先生が仲良くなること。それは、子どものためになる。先生と親がうまくいっていると、子どももうまくまとまる。人として高め合えるとよい。

○中学で P T A をやったとき、親が学校に来ると学校が落ち着くと感じた。

○どんな役でも、組織でも、楽しくやれることを考えたい。楽しそうだな。楽しくやっていると、楽しくなっていく。先生たちを知ることも大事。

○本学校運営協議会の連絡方法だが、グループ LINE で連絡をとり、会合の通知も出して、出欠をとったらどうか。そうすれば、素早く対応ができる。LINE だと、情報が手元にあってありがたい。

多くのご意見をいただきました。

今後の学校運営に生かしてまいります。